

～ 目 次 ～

香川県交通事故要因調査の概要	... 2
香川県道路交通環境整備の方向性	... 4
対策案事例集	... 5
事故対策モデル	...76
ゾーン30とは	...79
香川県のカラー舗装について	...81
委員会要綱・名簿	...83

香川県交通事故多発要因調査 の概要(1/2)

■背景

- 人口当たりの交通事故発生件数、死亡者数が
- ワースト上位

■事故の特徴

- 高齢者: 高齢ドライバー事故増加、
死亡事故は夜間・薄暮時に多発
- 自転車: 13～18歳の自転車事故が多い、
朝通学時間帯に多発
- 交差点・その他: 交差点での高齢ドライバーの判断
交差点における高齢歩行者の危険回避判断
自転車利用のルール、マナー違反

香川県交通事故多発要因調査 の概要(2/2)

■ 対策の方向性

分類	項目	イメージ	対策の方向性
高齢者	1 高齢者の心身機能低下等への対策	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢ドライバーが自らの心身機能の現状等を把握する機会を定期的に確保 ○高齢ドライバーの特性を踏まえた安全教育・啓発 ○交通弱者の立場にある高齢歩行者等も、自らの身を守ることの重要性を啓発 	⇒教育・訓練
自転車	2 若年自転車運転者に対する総合的な事故対策	<ul style="list-style-type: none"> ○他の通行者への配慮と規範意識をこれまでよりも高いレベルで醸成 ○事故多発時間帯の集中的な交通指導、街頭監視活動強化 ○安全走行教室など、参加・体験型の教育機会の確保 	⇒教育・訓練
その他	3 交通ルールの遵守と交通マナー実践の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○運転免許更新時の義務的な受講以外に、教育機会の確保や参加促進の取組み ○官民問わず、事業所等にあつては、その組織の社会的責務として、職員、社員等への安全教育と指導を徹底 	⇒教育・訓練
高齢者 自転車	4 高齢者、自転車に配慮した道路交通環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も、交通事故多発地点等、危険性の高い箇所など、優勢順位付けを行い、道路環境整備を計画的に実施 ○違法駐車・駐輪防止対策、適切な道路施設の利用喚起など、ハード・ソフト両面の取組みが重要 	⇒ 道路交通環境
その他	5 自動車に過度に依存しない社会、生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車による移動の代替手段の確保、移動機会を低減する生活支援サービスの確保 	⇒総合交通体系
その他	6 ボランティア等、民間活力のさらなる活用	<ul style="list-style-type: none"> ○交通弱者の高齢者や子ども、また、高齢ドライバー等を地域で支援できるよう、交通安全ボランティアの資質向上 ○高齢者を補助する器材等の民間開発や、移動手段の代替サービス等に民間活力が生かされることを期待 	⇒総合交通体系

香川県道路交通環境整備の方向性

■ 対策の方向性

分類	高齢者	自転車	交差点
分離	○ 動線を分離することで事故機会を減らす	○ 動線を分離することで事故機会を減らす	○ 動線を分離することで事故機会を減らす
認識	○ 反射神経低下を認識向上により補う	△ 自転車ルールと合わせることで効果	○ 事故危険リスクへの認識を高める
速度抑制	○ 事故回避、事故損害低減を期待	—	○ 事故回避、事故損害低減を期待
円滑化	△ 公共交通等への移行による事故回避	—	△ 公共交通等への移行による事故回避

○：効果が期待されるもの

△：条件付きで効果が期待されるもの